



林 さえこの柏市議会



髪の毛が生まれつき茶色いにも関わらず、教員から黒染めをするよう強要された公立高校の女子生徒が、精神的苦痛を受け不登校になったとして大阪府に対して裁判を起こしました。この報道がきっかけとなり、今「ブラック校則」に注目が集まっています。

今回、柏市立の中学校と高校全ての校則を調べましたが、やはり柏市の学校でも不合理な校則があり、生徒の人権を侵害している恐れがあります。

学校規則

「ブラック校則」 ありませんか？



スニーカーはダメ？？

ある学校は、「運動靴」を指定しているのに「スニーカー、ハイカットの靴などは禁止」と

いう校則が：スニーカーを辞書で引くと「底がゴムでできた、布あるいは革製の運動靴」難解な校則です。また、別の学校では水筒を持ってきて良いのが夏服期間だけに制限されています。冬服になつたその日から、

生徒は喉が渴かなくなる…わけではないと思います。靴下についても細かい校則が。ハイソックスやタイツがOKの学校もあります。教職員が生徒を管理するためのツールにしてはいけません。ましてや閉鎖的な学校の中

で、生徒への過剰な縛め付けが行われるのを放置してはいけま

なんのための校則？

校則は本来、生徒がより良い

学校生活を送るためのルールで許されている学校もあります。

くるぶしソックス指定で、くるぶしが見えるスニーカーソックス

スを禁止する学校も。くるぶしが見えたから困るのでしょうか？（笑）防寒具の指定も細かく、マフラーOKでネットワークマー禁止、セーターはい

いけどカーディガンはダメなど、不思議な校則を挙げればキ

リがありません。性の多様性を無視した男女ごとの細かい髪形指定も、もはや時代錯誤と言つて良いでしょう。

法的には…

今、私たちが制服と呼んで、るのは、あくまで「標準服」です。過去の裁判でも「公立校の場合、制服は着用を強制されるものではなく、着用しない生徒も不利に扱われてはならぬ」という判例が出ています。

本来、生徒は自由な服装・髪型で登校する権利があることを、生徒も教師も保護者も認識している上で、みんなが気持ちよく過ごすためルールづくりを生徒自身で行つてほしいと思います。

《発行》 2018.1.11

林 さえこ(柏市議会議員)
fb.com/saeko.hayashi.35
twitter.com/saeko_hayashi

《問い合わせ》

林 さえこ事務所
(市民ネットワーク・かしわ)
<平日9:30~16:30>
〒277-0005柏市柏5-8-15
TEL : 04-7166-6648
FAX : 04-7166-6716
MAIL:smnnet@bz03.plala.or.jp

平成29年第4回定例会

定例会が12月1日(金)から12月20日(木)まで行われました。一般質問の録画は、市民ネットワーク・かしわのHPで見ることができます。

12/12(火)

林 さえこ一般質問項目

子どもの権利の保障について
① 全ての子どもの就学支援
まちづくりについて

① 公共施設のあり方
保健福祉行政について

① ダブルケア者への支援
② フッ素塗布事業

教育行政について

① 学校規則

② 制服

③ 学用品備品化

「一般質問」とは、市の事務の執行状況や計画の考え方などの報告や説明を、市長や担当部長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

フッ素塗布事業



本当に虫歯に効くの？

柏市では2歳6か月の子どもを対象にフッ化物歯面塗布事業を行っています。受診券を使い、3歳までの間に無料で1回、指定医療機関でフッ化物歯面塗布が受けられます。

エナメル質とフッ素が反応してフルオロアパタイトができるため、フッ素には虫歯予防効果があると、かつては言われてきましたが、現在はそれが誤った仮説ではないかと指摘する専門家もいます。そもそもフッ素利用が始まつた頃からその効果を疑問視する研究者は一定数いたにも関わらず、歯科医師会の強力な推進体制に、その声がかき消されてきた歴史があります。

劇薬要注意 WHOも警告

フッ素はわずかながら自然環境中にも含まれていますが毒物です。低濃度でも人体に蓄積して悪影響を示すことがわかつていて、フッ素洗口・塗布用医薬品は、薬事法上「劇薬」指定されています。高濃度で摂取すると急性毒性反応を起こし、死亡することさえあります。

1994年にWHOでは「6歳未満の子どものフッ素洗口を禁止、塗布も一般的に中止すべき」という警告を出しています。アメリカでも1997年からフッ

素入り歯磨き剤に毒性の警告表示をすることが義務づけられています。

弁護士会も中止を要請

2011年、日本弁護士連合会は、安全性・必要性・有効性に疑問があり、安全管理、薬事法違反など様々な問題を抱えるとして、「フッ素洗口・塗布の中止を求める意見書」を、厚労省、文科省、環境省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会に提出していますが、未だ各団体の推進体制は見直されていません。

柏市保健所は…

今回の質疑で、フッ素の有効性と安全性を柏市保健所がどのように考えているのか問い合わせましたが、やはりフッ素利用を推進する歯科医師会や厚労省が謳う「有効で安全」以外に根拠はなく、独自の検証もしていないことが分かりました。フッ素利用の有効性や安全性については学者の見解が一致していない段階で、柏市の検証も不十分となれば、「疑わしきは使用せず」の予防原則に基づいて見直すべきです。

副作用のない薬はありません。税金で行う推進事業はもつと慎重に、徹底的に検証してほしいと考えます。

市民要望を議会に託す「請願」

議会には毎回様々な請願が市民から提出され、委員会や本会議で審議されて、採決が行われます。分かりやすい内容なので、各議員の政治姿勢が知りたい時は、請願の賛否をチェックすると良いでしょう。

請願「柏ふるさと公園に隣接する大堀川の岸辺の安全対策について」

9月に小学生が柏ふるさと公園の水辺で亡くなる、悲しい事故がありました。川で遊べるように作られた岸辺なのに、一見浅く見えて実はとても深い危険な場所です。事故現場は県の管轄なので、

例えば、9月議会には「国連の核兵器禁止条約の調印を求める意見書について」という請願が提出されました。もちろん私たちは賛成の立場ですが、多数を占める保守系議員は政権意向に従って反対の立場。しかし市民感情を考えるとあからさまに反対できないため、継続審議を主張しています。

安全対策の見直しを柏市から県に要望してほしいという今回の請願は、建設経済委員会と本会議で審議され、採択されました。二度と犠牲者を出したくないという遺族の願いを真摯に受け止め、県も市も安全対策を見直すべきです。

ダブルケア者への支援

介護をしながら働き続ける

専業主婦家庭と共働き家庭の数は20年前を境に逆転し、年々共働き家庭が増えています。以前は主に専業主婦が担ってきた介護ですが、現在は介護者557万人のうち半数以上の291万人が働いています。

仕事と介護の両立は大変ですが、介護離職をしてしまうと、家事や介護に閉ざされた生活の中で貯金を切り崩す日々が続き、かえって経済面・精神面・肉体面の負担が増えるケースも見られます。再就職を望んでも簡単にはいかず、自分自身の生活がままならなくなることもあります。介護離職は避けなければいけません。

学用品の備品化

算数セットの実態調査

以前より、鍵盤ハーモニカや算数セットなど、共用で使える学用品の備品化を求めてきましたが、各校では実際算数セットをどのように用意し使っているのか、アンケートを作成して全小学校に調査を依頼しました。

各校で必要な教材を購入し、保護者の個人購入をなくしている学校もありますが、毎年保護者負担

で用意させている学校がほとんどです。(※表を参照)

子どもの貧困が社会問題になる今、教育にかかる経済的な保護者負担はできる限り削減すべきです。また短い期間しか使わないものを毎年一年生保護者に購入させて、最終的にごみにしてしまうのは、環境施策としても問題です。引き続き備品化を求めます。

子育て中の介護

しかも、近年は晩婚化と高齢出産化が進み、子育てと親の介護等が同時期に重なってしまうダブルケアに直面する人が増えています。35歳以上で出産した女性のうち3人に1人が、小学生までの子育てと同時に、親の入院や介護が必要な状況に直面しているとのことです。今後は介護と子育てをしながら、しかも働くという、重い負担を抱える人が増えることを想定して、支援策を考えていかなければいけません。

国は？柏市は？

国でも介護離職を止めるための議論が始まり、ダブルケアについてもようやく周知され始めました。しかし、まだ具体的な施策に繋がるには時間が掛かりそうです。

そんな中、堺市はダブルケア相談窓口を設置。カウンセラーの育成やハンドブック作成を始めた横浜市、ケアマネジャー向けの研修を始める京都府など、一部の自治体が支援に動き始めました。柏市でも具体的な支援策の検討を進めてほしいと考えます。今後も引き続き取り上げ続ける予定です。

△モ△モセットは必要？

使用状況についても各校細かく調べましたが、ブロックと計算カード、時計だけで済んでいる学校が複数あります。「あるから使う」のではなく、「ないと教えられない」教材が何なのか、先生方も考えいく必要があるのではないでしょうか？

今回の調査結果は各校で共有し、見直すきっかけにしてほしいと考えます。

柏市立小学校 算数セットの保護者負担 29年度

	保護者負担金額	小学校名
保護者購入なし	0円	土南部・藤心・富勢東・花野井・田中北・手賀東・手賀西・柏の葉
保護者購入あり・パート(ブロックと計算カード)	770円～1,200円	第二・第七・酒井根西・土・富勢西・松葉第一・松葉第二・風早北部
保護者購入あり・パート(上記以外の組み合わせ)	1,210円～2,500円	第一・旭東・大津ヶ丘第二
保護者購入あり・セット	1,000円～2,800円	第三・第四・第五・第六・第八・豊・旭・高田・名戸ヶ谷・光ヶ丘・酒井根・酒井根東・中原・増尾西・逆井・富勢・田中・西原・十余二・風早南部・高柳・大津ヶ丘第一・高柳西

平成28年度柏市歳入歳出決算

入ってきたお金…歳入1,270億円

28年度は個人市民税や固定資産税が増加した一方で、税制改正の影響で法人市民税は減っています。また地方交付税や地方消費税交付金などが大きく減少。一般財源の確保は厳しい状況です。

27年度のふるさと納税の影響も大きく、28年度に本

来入ってくるべきだった個人市民税への影響額は11,800万円でした。柏市民の皆さんのが他の自治体によるさと納税をすることで、柏市で使われるべき税金が減ってしまいます。まるで自治体間で税金の取り合をさせるような国の政策自体が問題ですが、市民の皆さんも、柏市の行政サービスの充実を望むのであればふるさと納税を控えてほしいところです。

柏市の借金…債務残高1,448億円

28年度は、合併特例債や臨時財政対策債の借入額が減少した一方、借換債の借入れを行ったため、市債の発行は前年度より2,600万円増えました。債務残高は前年度より55億3,600万円減り、年々減少していますが、近隣市と比べるとまだまだ高く、28年度の歳入よりも多い1,448億円もあります。

出て行ったお金…歳出1,218億円

28年度の歳出では、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増大により、扶助費や介護保険事業会計等の繰出金が増加しました。今後は更に少子高齢化が進み、社会保障の充実が求められます。また、老朽化した公

特に問題なのは臨時財政対策債(臨財債)の発行残高が増えている点です。28年度は33億円借りていますが、償還額が元金利子含めて24億円もあり、一概行政経費に使えたのは9億円のみ。臨財債の返済のために臨財債を新たに発行する状況になってしまっています。臨財債の発行は控え、早く返すべきです。

柏駅西口北地区再開発事業

現在、高島屋や岡田病院周辺3.8haの再開発が計画されています。全国でも稀に見る大型の再開発事業で、柏市から200億円以上の補助金が支出されると言われています。味わい深い商店街や美しい庭の一軒家が壊され、ピカピカの高層マンションが3棟建つ計画。地権者の一部は計画に反対しています。

特に大きな問題は、事業の中身が市民に知らされていないこと。市民の税金を使って作った28年度の事業化推進委託報告書も、市街地再開発事業補助金の金額が黒塗りで、議員すら以前の資料から推定するしかありません。

市民が知らないまま、多額の税金が使われる事業を進めることは問題です。この人口減少社会の中で、公共性の乏しい再開発事業に税金から多額の補助金を投入するのが妥当かどうか、情報公開の下で市民と共に検証するべきです。

共施設の大規模改修や建てかえも大きな課題です。このような財政状況の中では、事業を取捨選択しきればいけませんが、市民に情報が公開されないまま、不要不急の開発事業が進められています。

決算の認定に反対

このように、現在の秋山市長の行政運営には大きな問題があるため、28年度の決算には反対票を投しましたが、賛成多数で可決されました。

くらしと政治の おはなし会

現役ママ議員と
しゃべろう



くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。皆さんの声をお聞かせください♪

第19回 2月9日(金) 14:00~16:00

第20回 2月17日(土) 10:00~12:00

林さえこ事務所にて
(市民ネットワーク・かしわ)

参加費:無料

申し込み:事務所にご連絡ください。
(飛び入り参加も大歓迎♪)

出張おはなし会も
開催いたします。

ぜひご相談ください。